

# 第36回東海高等学校バスケットボール新人大会

男子2回戦

試合日 2023年2月11日  
会場 エコパアリーナ  
コート Dコート  
開始時間 16:30

TEAM A		TEAM B
飛龍 (静岡)	85	美濃加茂 (岐阜)
	11 - 31	
	26 - 26	
	21 - 32	
	27 - 14	
	OT	

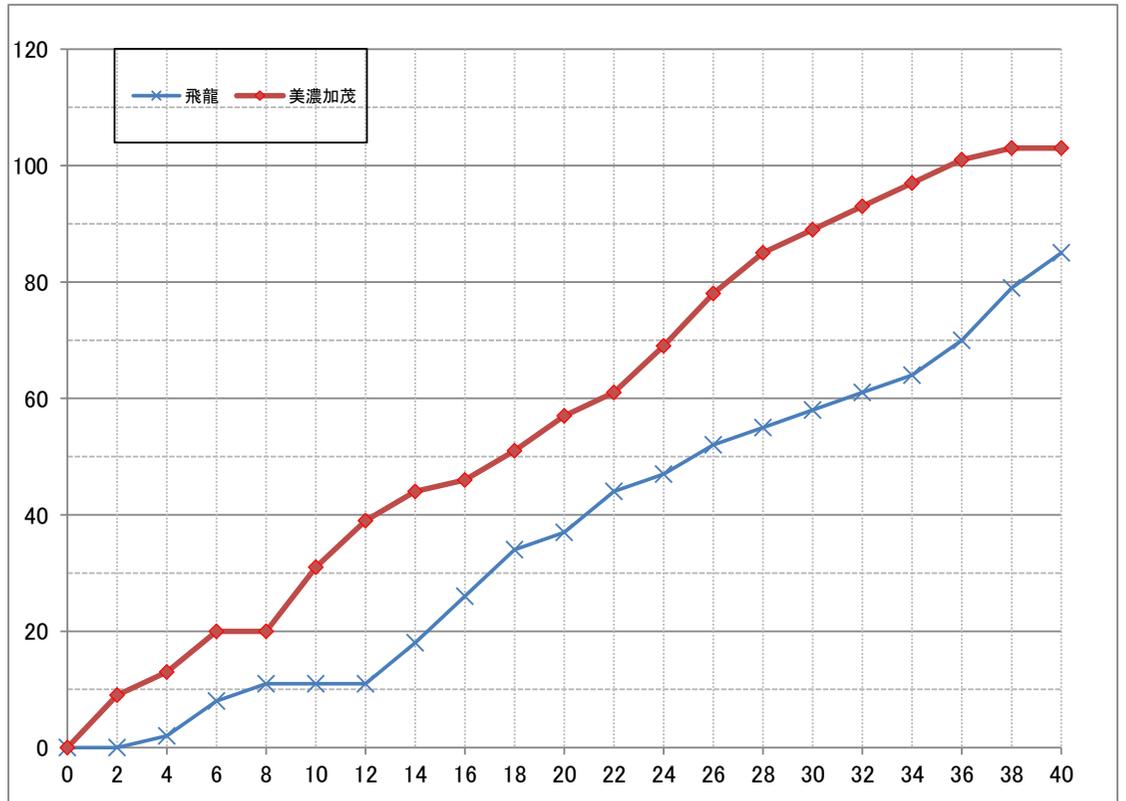
## TEAM A 飛龍 (静岡)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		佐藤 柚人	0	0	0	0	0
5	*	渡邊 光	6	2	0	0	5
6		瀬古 迅	20	6	1	0	0
7		鈴木 心	5	0	1	3	1
8	*	澁木 勇希	16	2	4	2	4
9	*	野田 悠峨	17	3	4	0	2
10	DNP	藤 皇青	0	0	0	0	0
11	*	中久喜 光祐	6	0	3	0	3
12		阿部 光音	13	1	4	2	2
13		竹本 雅矢	2	0	1	0	1
14		中村 飛鳥	0	0	0	0	2
15	*	植田 悠路	0	0	0	0	1
16	DNP	竹村 勇祐	0	0	0	0	0
17	DNP	太田 俊	0	0	0	0	0
18	DNP	上門 京太郎	0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	0
TOTAL			85	14	18	7	21

## TEAM B 美濃加茂 (岐阜)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	北條 彪之介	14	0	6	2	1
5	*	遠山 広貴	7	1	2	0	0
6	*	エブナ フェイバー	32	0	15	2	2
7	*	本田 海翔	4	0	2	0	2
8		藤原 涼介	2	0	1	0	3
9		後藤 陽南	0	0	0	0	0
10		田堀 瑛大	3	0	1	1	0
11		関 健朗	18	2	5	2	1
12		久保 俊貴	0	0	0	0	1
13		藤田 大輝	5	0	1	3	0
14		千本 宙輝	0	0	0	0	0
15		服部 圭都	2	0	1	0	2
16	*	後藤 宙	11	1	3	2	1
17		福田 玲生	5	0	2	1	0
18		坂野 康介	0	0	0	0	1
TEAM/COACH			/	/	/	/	0
TOTAL			103	4	39	13	14

## 【得点経過】



## 【戦評】

1Q  
静岡2位飛龍と岐阜1位美濃加茂の戦い。美濃加茂は2-3ゾーンディフェンスで相手のミスを誘い、#16後藤がレイアップを沈める。#6エブナの1対1を中心に攻撃を組み立てる。一方飛龍は、相手ディフェンスを前にリズムをつくれずにいる。しかし徐々に激しいディフェンスからリズムができ始め、#6瀬古の連続3P、#9野田のシュートが決まる。美濃加茂も飛龍の激しいディフェンスの中で、#6エブナの個人技でダンクシュートを沈めリードを保つ。また、飛龍のミスから着実に得点する。残り4分飛龍タイムアウト。飛龍はメンバー交代を繰り返しながら、運動量をいかしたディフェンスをする。美濃加茂は、相手のディフェンスに対して、#4北條や#11関が果敢に攻め、ファールをもらいさらに得点していく。31-11で美濃加茂リードで1Q終了。

2Q  
美濃加茂は落ち着いてボールを回して#11関が3P、#4北條のポストプレーで得点しリードを広げる。開始1分で飛龍はタイムアウトを請求し、流れを変えようとするが、得点に結びつかない。苦しい時間が続くが、#5渡邊の3Pや#6瀬古がレイアップを沈める。美濃加茂は#6エブナのポストプレーや外角からの1対1、#11関が得点し、飛龍を寄せ付けない。飛龍はゾーンディフェンスに変え、反撃する。すると、#6瀬古が3P、#8澁木がジャンパーを沈める。美濃加茂にミスが出始め、飛龍の#6瀬古が3P、#11中久喜と#8澁木がスティールから得点し、点差を縮める。しかし、美濃加茂も#6エブナがスティールから豪快にダンクシュートを沈め、また#11関が3Pとやり返す。飛龍も#11中久喜のドライブから#12阿部が3Pを沈める。終了間際美濃加茂#6エブナがゴール下で粘り、57-37で美濃加茂リード。

3Q  
開始早々飛龍は#9野田が3連続得点し、幸先よくスタート。美濃加茂も#5遠山の3P、#6エブナのゴール下で得点する。さらに、2-1-2プレスから飛龍のミスを誘い、#16後藤と#4北條が立て続けに決め、堪らず飛龍タイムアウト。点差を縮めたい飛龍は#6瀬古が3Pを沈めるが、美濃加茂のディフェンスを前にミスが出てしまう。そのミスから美濃加茂は#4北條や#6エブナ、#7本田が着実に得点しリードを広げる。飛龍も#9野田、#6瀬古の3Pで粘るも美濃加茂の#6エブナをいかしたオフェンスを前に、リードを広げられてしまう。89-58で美濃加茂リード。

4Q  
追い上げた飛龍は、果敢に攻め、シュートを狙っていく。#8澁木や#9野田が3Pを沈める。美濃加茂も果敢に攻めてくる飛龍に引くことなく相手のミスを#11関や#17福田が確実に得点していく。飛龍は、#7鈴木や#8澁木が難しいシュートを沈める。さらに、ディフェンスで積極的にトラップを仕掛けるなど最後まで諦めない。終了間際相手のミスから#12阿部が連続で得点したが、103-85で美濃加茂が勝利した。最後まで諦めずにひたむきにプレーした姿はとて印象的だった。一方の美濃加茂も#6エブナを中心とした攻めやチェンジングディフェンスを駆使した戦いで飛龍を寄せ付けなかった。